



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分區 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄



「初秋の錫杖岳」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

私が高山に来て間もなくのことです。確か昭和 48 年くらいだと思います。自分でオーディオセットを作っているという人を紹介されました。一度その人の手作りのセットで聴いてみないかというのです。私は名古屋にいたとき日本の一流メーカーのものを聴き比べて山水電気のセットが一番気に入って約 15 万円出して買っていました。その頃大学の文部教官助手の初任給が約 6 万円でしたからかなり高い買い物でした。レコードを聴いていると何となく神経が疲れてしまいます。音楽は聴きたいけど一時間も聴くと神経がクタクタに疲れてしまいます。ジレンマです。日本の一流メーカーのものがこんな状態だから田舎の素人が造ったものがそれに太刀打ちできるはずがないと高をくくってあまり気乗りがしませんでした。しぶしぶという格好で義理もあってとにかく聴かせてもらうことになりました。

ところが不思議なことに一時間があっという間に過ぎてしまいました。2時間、3時間聴いても全然神経が疲れません。雑音というか不要なノイズが全く聞こえません。まさに軽自動車に乗って高速道路を走っていたのが大型高級車で走るようなものでした。快適そのものです。この人は天才的な音感を持っていて音の変化はすべて自分の耳でとらえて微妙な音の変化を細かく調節することができるのです。真空管やコンデンサーなど必要な器具をフランス、やドイツ、アメリカなどから取り寄せてそれに適したスピーカーを組み合わせて装置を造られます。その時以来もう 40 年以上レコードで音楽を聴いています。私は現在ほとんど毎日ベートウベンを聴いています。いつの間にか眠ってしまっていることもあります。音楽が終わると自然に目が覚めるのでとても神経が休まるのだと思います。この技術は神業に思われます。

確かに CD は音がきれいでも雑音はありません。レコードと比べると音質は旬のサンマと旬を過ぎたサンマくらいの差があります。勿論音楽は同じですが音の密度がかなり異なります。現在はレコードで音楽を聴く時代ではありません。真空管を使用したオーディオセットなどなくても手軽にどこでも音楽を聴くことはできます。この人はもう 70 歳台になりました。しかしまだ健在です。何とかこのような伝統技術が残る方策はないのだろうかと思いますが、時代の流れには逆らえないようです。時代の流れから外れると淘汰されて

しまいます。

ロータリーを含め、企業も時代の大きな潮流にうまく乗らないと消滅せざるを得ないということです。本年度のガバナーの不易流行という目標はとてすごいと思います。

<幹事報告>

◎はぐるま会会長より

- ・第 172 回はぐるま会開催ご案内

日時 11月25日(日)

10:30 スタート

場所 飛騨高山カントリークラブ

懇親会 カントリーレストランアリス

会費 2,000円 締切 11月15日

◎高山市青少年育成市民会議より

- ・「家族スナップ写真展」及び「家庭の日図画展」の実施に伴う PR および準備等へのご協力について

展示期間 12月7日(金)~9日(日)まで

会場 高山市民文化会館 2-5、2-6 展示室

<受贈誌>

Rotary International(ロータリージャーナル 11月号)、台北市松年福祉會(玉蘭荘だより)、(財)比国育英会バギオ基金(バギオだより)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	36名	15名	51名	51名	100.00%
本日	51名	—	42名	51名	82.35%

奉仕を通じて平和を

例会報告

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日



葛谷 一嘉	11. 7	垂井 政機	11. 10
山下 明	11. 3	河渡 正暁	11. 3
小田 博司	11. 5	山蔵 真輔	11. 23
菱川 正臣	11. 1 (当日欠席)		

◎夫人誕生日 (当日ご自宅に花束をお届け)

小森 丈一	映子 さん	11. 17
折茂 謙一	佑子 さん	11. 3
岡田 贊三	芳子 さん	11. 6
田近 毅	薫 さん	11. 1
伊藤 松寿	早苗 さん	11. 20
阪下 六代	恵子 さん	11. 14
鴻野 幸泰	尚美 さん	11. 28
垣内 久男	マウリン さん	11. 15

◎結婚記念日

葛谷 一嘉	S 31.	11. 5
平 義孝	S 35.	11. 3
小森 丈一	S 39.	11. 11
村瀬 勝彦	S 44.	11. 11
田中 武	S 45.	11. 18
田中 正躬	S 45.	11. 29
寺田 昌平	S 48.	11. 14
洞口 良一	S 49.	11. 10
米澤 久二	S 57.	11. 20
垣内 秀文	S 60.	11. 4
道脇 清春	H 元	11. 5
垣内 久男		11. 3
下屋勝比古	H 3.	11. 4
向井 公規	H 17.	11. 6

◎出席表彰



田中 武 9年



東 庄豪 1年

◎在籍周年記念表彰

ナシ

◎3ヶ月表彰

- ・伊藤 松寿
- ・井辺 一章
- ・岡田贊三
- ・蜘蛛 康介
- ・小森 丈一
- ・下屋勝比古
- ・田中 武
- ・東 庄豪
- ・菱川 正臣
- ・洞口 良一
- ・山本善一郎
- ・米澤 久二

地区大会報告

道脇 清春

先日(10月27日~28日)は地区大会に参加させて頂きありがとうございました。

西クラブは会長初め総勢14名の参加です。毎回、私に報告せよとのご下命が下されますが、今回こそ逃げたかったのでひたすら息を潜めていましたが、やっぱり見事に当選いたしました。3名の方が報告しますので、私は1日目の事を報告いたします。

今回は大垣が会場と言うこともあって、遅い出発(9時30分)です。いつもの、野戸さんの所のバスで行かせて頂きました。行きの車中は何事も無く、身体の病気の事(前立腺がどうの、通風がどうのこうのと...)高齡化に伴うごく普通の話ですが、自分に当てはまりだしたのがとても悲しかったです。

定刻よりやや遅れて会場入りしました。なかなか昼食にありつけなかったのですが、和食バイキングで...これから襲ってくる睡魔のことも考えず腹いっぱい食べました。

13:00丁度の点鐘で開会です。プログラムに則り順調に進みます。ガバナー挨拶では村橋ガバナーのお話を簡単に報告します。

地区テーマである不易流行について、松尾芭蕉の言葉に『いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも新しく変化を重ね



例会報告

ていくものを取り入れていくことが大切である』というのがありますが、不易は、私たちは超我の奉仕や4つのテストを大切に守ること、流行は、本質を変えないで進化・変化に取り組むこと。特に印象に残った言葉ですが、私にはまだ奥深く、難しい内容です。

次に、R I 会長代理の講演内容を報告いたします。会長代理のお言葉の中に、R I 会長の言葉を借りて『地区大会は、ロータリアンにとって、親睦を図り、意欲を高め、地域の奉仕プロジェクトや諸活動について知識を深めるまたとない機会である』『超我の奉仕の理念は、人はみな自分だけでは生きていけないということを教えてくれます。誰かに居て欲しいと思うのであれば、私たちも人のためにそばに居てあげることが大切です。』特に印象に残りました。

その後、R I 表彰では、会長表彰と会員増強推進計画の表彰で西クラブが表彰を受け、折茂会長が壇上に上げられました。会員増強推進計画の表彰の受賞代表スピーチに鈴鹿西クラブがされましたが、純増8名で、本当に元気なスピーチで鼻息の荒さが伺えました。在籍50年表彰では、13名の方が受賞され中でも、90歳で在籍52年の方が見えました。まだまだお元気で、若さを頂いたような気がします。その後、地区表彰、感謝状授与となりましたがここで、先ほどの昼飯が効いてきて余り覚えておりません。



午後の部では『指導者育成セミナー』と題しパネルディスカッション形式で行われ、コーディネーターと3名のパネリストのよる『ロータリーにおける不易流行とは』をテーマに進みました。主に会員増強の話でしたが、中でも会員には4種類のタイプが居る事。
1. 支持者のような存在、2. 危うい存在、3. 関心が無い存在、4. 無関係のような存在。1. 支持者のような存在をロータリアンといい、2. の危うい存在というのが、目的をよく理解していない人・・・後者は、ただ居るだけという人という。何か耳の痛い話をされていました。又、クラブにも4つのタイプがあり、A・思想を理解し、会員も多く活発的である B・伝統的なクラブ・・・つまり伝統に縛られているクラブ C・20～30人のクラブで平均的な活動 D・仲間意識は強いが行動はおこさない 何かランク付けされているようですが、西クラブはどれに入るかは私の口からは怖く

て言えませんが・・・少なくともCやDでないことは確かです。誇りに思ってもいいと思います。なんて・・・

27日の全てのスケジュールを無事終了し、夜のお楽しみに・・・



岐阜の町の中に向かいました。懇親会は、伝統で格式のありそうな潜龍という松坂牛のお店に連れて行って頂きました。私には全く縁のないところですがおいしく頂きました。急遽コンパニオンさんを手配され花を添えて頂きました。・・・誰かさんが、ETに似ていると言って喜んでいましたが・・・私には綺麗なお嬢様に見えました。その後、二次会に皆様、柳ヶ瀬の町に消えましたが・・・私の関与するところではございませんので報告はしません。

以上で1日目の報告終わります。ありがとうございました。

寺田 昌平

10月27日(土)午前9時20分市役所前に停車中のはとバスに全員揃いました。折茂会長より「体調不良の方が本日と明日が峠なので、その方の体調が急変した場合戻らねばならないので自家用車で追随



します。そうならない事を願っていますが万が一の場合には米澤幹事始め皆様にご迷惑をおかけしますがよろしく願います」と車中で挨拶がありました。予定時間5分前に出発。明日より参加の方もいてバス乗車は11名。また1日目の実で帰高される方もみえ、参加者が少なく寂しく感じました。米澤幹事より挨拶、2日間の日程について連絡があり、ひるがのSAで小休止その後は車中にて各々歓談し盛り上がりました。川島SAで休憩し大垣フォーラムホテルに12時少し前に到着。ホテル前にて記念撮影後、米澤幹事が大会本部にて受付。ホテル内所定レストランは混雑しており、大会案内のロータリアンよりホテル隣の食堂「めしや」を案内され、そこで昼食を済ませました。ちなみにそちらも大会昼食会場としての設定がされており、費用はかかりませんでした。

例会報告



本大会会場は横に長く縦に短く、会員の席はスチール椅子が並べられ、天井はやや低く窮屈な印象でした。正面に大きなスクリーン、左右横にはやや小さなスクリーンが設定されており、会場設営に苦勞されただろうと感じました。第1部のプログラムは予定通りに進行され、ガバナー村橋氏の挨拶、中国・台湾・韓国訪問団(遅刻し途中参加予定)の紹介、歓迎の言葉の後、「奥の細道」のむすびの地として大垣にゆかりのある、松尾芭蕉の『不易流行』について、ガバナーが書かれたものがスクリーンに大写しにされ、ロータリーに関連付けたお話がされました。綱領、四つのテスト、またDLP・CLP、クラブ独自性の特性、アイデンティティを築きあげるもの等について話されました。表彰に入り、我クラブはRI表彰の会長賞、会員増強推進計画の二つの表彰を受け、折茂会長がステージ上で表彰されました。地区大会で二つのRI表彰は初めての事ではないでしょうか。



第2部は午後3時より開会されましたが本会場とは別の会場の方へ移動しました。指導者育成セミナーで「ロータリーにおける不易流行とは」というテーマで4名のパネリストを迎えパネルディスカッションが始まりました。沢島武徳さんのコーディネートにより進行され、ロータリアンについて四つに分析されたものを紹介されました。パネリストに指名されその方のロータリーについて尋ねられると「10年前にロータリアンはノータリアンと聞いた事がある。3

年前にロータリーを退会された方の理由を聞くと新人研修がない、ロータリーの話がされない、`購`は出来るが`読`が出来ない(『ロータリーの友』『ガバナー月信』の事では…?)。また本日途中で帰られた方にこそこういった話を聞いて欲しい、とも言われ、批判的な内容の話が多かったように思いました。全ての会員は「君」づけで名前を呼び、ロータリアンは公平、礼を尽くす事が出来なければロータリアンではない、ロータリアンは皆社長である、とも話されました。パネルディスカッションのはずなのにどういふ事かと不思議に思いましたが、この後の予定もあり途中退場となり最後まで聞けなかったのが残念でした。退場後このパネルディスカッションがどうなったのかは定かではありません。

岐阜市内のホテルに到着後、懇親会場潜龍に移動。午後6時30分より開会となりました。懇親会は大いに盛り上がり、より一層親睦を深め、楽しい意義ある会となりました。

大村 貴之 (代読 塚本直人)

本来は大村さんの発表を予定していましたが、本日都合により例会欠席です。同じ新会員の立場で年次大会に出席させていただいた塚本が大村さんから預った原稿を代読いたします。



『地区大会に参加させていただきありがとうございました。私からは2日目を中心にご報告させていただきます。

10月27日28日にホストクラブ本巣ロータリークラブにより大垣フォーラムホテルにて行われました。来賓にはRI会長代理辰野克彦さま、岐阜県知事古田肇さまをはじめ多くの方の出席がございました。

午前中は小惑星探査機『はやぶさ』でプロジェクトマネジャーを務められた川口淳一郎さんの基調講演が行われ、はやぶさが帰還するまでのエピソードについて冗談を交えながら話されました。講演の中で、日本の教育では問題をあたえられてから学び、取り組みをすることを教えられる。よって、インスピレーションやひらめきによって挑戦することが出来なくなってしまった。だから、新しい発見をするときには過去にこだわらず一歩前に進み、挑戦してみることが大事。そしてその挑戦を評価してくれる環境も必要だと感じました。

午後からは、辰野克彦RI会長代理の講演があり、特に会員増強について力強く、今後の会員増強の計画や新しいタイプのクラブ設立など話されました。

インターアクトクラブ代表のスピーチでは、飛騨高山高校の山本安娜さんが韓国派遣で学んだことを大勢の前で堂々と発表してくれました。

例会報告



地区大会で多くのことを学ぶことが出来ました。参加できたことに感謝いたします。

最後に 今回地区大会に参加できた新会員は2名でした。参加義務者となっているのに非常に残念です。新会員として、4月の地区協議会・10月のIM、地区大会が参加義務者となっておりますので、次回は必ず出席できるようにしてください。』

<ニコニコボックス>

●折茂 謙一さん

10月27日28日大垣フォーラムホテルでの地区大会、出席の皆様ご苦労さまでした。社の皆様新会員 井上 正さんの入会心より歓迎します。増強委員会の皆様有難うございました。

●米澤 久二さん

さる27日から28日に行われました地区大会に参加された14名の皆様、お疲れ様でした。とても楽しい2日間でした。ありがとうございました。本日はこの報告を道脇さん、寺田さん、塚本さんよろしく申し上げます。

●寺田 昌平さん、内田 幸洋さん、田中 武さん

10月27日28日大垣で開催された地区大会、折茂会長・米澤幹事、色々配慮していただきありがとうございました。楽しい懇親会は特に思い出となり写真までいただき御礼申し上げます。

●野戸 守さん

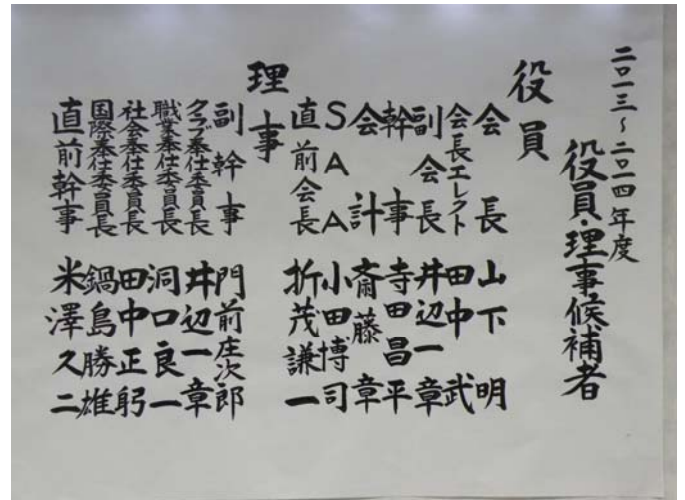
久しぶりに年次大会出席しました。また当社のバスをご利用いただき心より感謝します。

●垂井 政機さん、脇本 敏雄さん、小林 勝一さん

10月28日斐太高校14期生古希記念同窓会を無事終える事が出来ました。83名出席で楽しく盛り上がりました。喜んでもらえて幹事一同も感激でした。当日配布した資料を山都印刷さんに依頼しましたが、大変お値打ちにいただき、平さんありがとうございました。

●山下 明さん、寺田 昌平さん

次年度役員・理事の候補者を発表しました。初仕事です。よろしく申し上げます。



●●●● 一期一会 折茂 謙一 ●●●●

- 昭和31年、一浪後名古屋大学医学部を受験しました。二次試験は信州大学を受けるつもりでした。
- 長崎から夜行列車で片道12時間位かかります。合格発表までの間大阪外大の友人の下宿に泊めてもらうことにしました。予備校に行かず1年間自宅で勉強したので何としても浪人はこりごりでした。発表の日までほとんど外出することなく勉強していました。無事合格の電報が届いたその日、お祝いだといってその頃流行の音楽喫茶に連れて行ってくれました。『君への合格プレゼントだ』といってベートウベンピアノ協奏曲第5番皇帝をリクエストしてくれました。田舎のガリガリ雑音のいるラジオでしか音楽を聴いたことがなかったのでビックリ仰天。いきなりベートウベンの虜になってしまいました。それ以後現在もほとんど毎日ベートウベンを聴いています。ベートウベンこそ私の最大のストレス解消です。

●●●● 一期一会 米澤 久二 ●●●●

- RCの好きなおところは一杯あります。そのひとつを紹介させていただきます。
- 小森さんがRCは教育機関の一面もあると言われました。気が弱い？私はなかなかNOと言えなくて苦手なことをやる羽目になります。
- 今年の新年会で「めでた」をやれ、と当時の斎藤会長からお達しを受け、シブシブ練習を始めましたが、うまくいきません。日を追って食も細くなる一方です。暖かく援助していただけるのもRCでして、当時の堀川委員長始め親睦委員会の皆様に変にお世話になりました。練習に気長に付き合ってくださいました。あまり上手くはなりませんでしたが、RC皆様のご支援でどうにかこうにか新年会で発声することができました。
- 山下さんがRCでは自分に現れていないDNAを覚醒することができると言われました。毎日修行を続けさせていただき、ひょっとすると新しい才能が目覚めるかもしれません。今後もご指導よろしく申し上げます。